

須木の大自然を満喫 すきむらんど滝まつり開催

5月4日、すきむらんど滝まつりがありました。春の山菜や特産品を販売する「山びこ市」のほか、歌やダンスなどのステージイベントなどを行い、市内外から1200人が来場。また、子どもが楽しめるタケノコ輪投げ、魚のつかみ取り大会や抽選会などもあり、会場は多くの人で賑わいました。



タケノコの輪投げを楽しむ子どもたち。また連休中には、ままこ滝の絶景を間近で見れるカヤックスクールも行われました



青野さんは千葉県出身。食の六次産業化、地域資源のブランド化や循環型エネルギー事業などに取り組む予定です

農業で地域活性化目指す 地域おこし協力隊新たに着任

地域活性化と定住・定着を目的とした総務省の「地域おこし協力隊」事業で、新たに青野雄介さんが隊員として委嘱されました。「農業に興味があり、直接市民の方から話を聞いて、地域の課題を一緒に解決したい」と青野さん。5月から地方創生課で勤務し、農業を通して地域活性化を目指します。



のじりアグリサービスのバラのアーチ。スタンプラリーの参加者を対象に、地元農産物や食事券が当たる抽選会を行いました

のじりばら祭りスタンプラリー バラ咲き誇る3施設で開催

5月7日、8日、14日、15日に、のじりばら祭りスタンプラリーが開催されました。ラリーポイントは、のじりアグリサービス、萩の茶屋、のじりこびあの3ヶ所。のじりアグリサービス馬水明郎社長は「例年より1週間ほど遅い開花となったが、花つきもよく盛況に終えることができた」と話しました。

障がい者が住みやすい地域に 15人が障がい者相談員に

4月24日、障がい者相談員の委嘱状交付式が行われました。今回、15人が委嘱され、障がいに関する相談や援助、正しい認識の普及啓発を担います。相談員の野田進一さんは「障がい者の方たちが住みやすく、住んでみたい優しいまちになるようがんばります」と話していました。



代表してあいさつを述べる野田さん。「小林市障がい者相談員協会」も発足し、今後、福祉推進のために活動していきます

春の叙勲 市から2人が受章 眞方國男さん、塚脇睦広さん

春の叙勲受章者が発表され、市からは眞方國男さん（64 = 元消防団副団長）と塚脇睦広さん（70 = 元農林水産技官）が瑞宝単光章を受章しました。眞方さんは「地域の安全のために活動してきました。叙勲をいただいたことをとても光榮に思っています」と話していました。



眞方さんは昭和45年に消防団に入団。平成17年から10年間は副団長を務めるなど45年の長きにわたり地域防災へ尽力されました



満開を迎えた生駒高原。ゴールデンウィーク中には、オリジナルフットバルーンづくり体験やガーデニング教室も行われました

25万本の花々に1万8千人 生駒高原でポピーまつり開催

4月16日から5月15日にかけて、生駒高原ポピーまつり2016が開催されました。広さ16畝の園内ではオレンジ、白や黄色のアイランドポピー、カリフォルニア・ポピーなど約25万本が満開。まつり期間中には、園内に屋台や物産展などが並び、歌や太鼓などのステージイベントも行われました。



毎年、4月29日（昭和の日）に開催される薫風杯。剣道を通して、子どもたちの心身の鍛錬と健全育成を目的に開催されています

少年少女剣士418人が集う 須木で剣道大会を開催

4月29日、第28回薫風杯剣道大会が須木地区体育館でありました。県内外の小・中学生ら41団体104チーム、418人が参加。市内からは5団体8チームが出場し、熱戦を繰り広げました。結果は、三松剣道スポーツ少年団が3・4年の部と5・6年の部で3位に入りました。

教育目標の実現に向け 教育研究センター 20人委嘱

5月20日、市教育研究センター研究員などに、市内小・中学校の教職員20人が委嘱されました。教育委員会の大部蘭智子委員長職務代理者は「市の教育発展に大きく役立てる研究を期待します」と挨拶。昨年策定された「0歳から100歳までの小林教育プラン」の実現に向け研究を進めます。



研究員を代表して三輪正憲主任研究員が、「研究員の力を集結し、目標の実現に向けて努力します」と決意を述べました



左から大角部会長、肥後市長とマンゴー部会の松田泰一部会長。今年のフェアは5月28日にのじりこびあいで開催されます

メロン・マンゴーの出来上々 多くの人に味わってほしい

5月19日、第5回メロン・マンゴーフェアの開催に伴い、JAこばやしメロン部会と同マンゴー部会から宮崎ブランドの「めろめろメロン」と「太陽のタマゴ」が贈呈されました。メロン部会のおおづのまさひろ部会長は「県内外の多くの人に、特産品のメロンとマンゴーを味わってほしい」と話していました。

出の山のホタル保護のため 清掃ボランティアを実施

5月12日、「出の山ホタル恋まつり」を前に、清掃活動を行いました。観光協会、地元業者やボランティアなど約100人が参加。ゴミ拾いや草刈りを行い、観光客受入れのための環境を整備しました。観光協会小蘭勇副会長は「多くの人たちにホタルを楽しんでほしい」と話していました。



普段は立入禁止となっている遊歩道の草を刈る小蘭副会長ら。整備された遊歩道は、ホタル恋まつりで開放されます



百笑村で入念に食材を確認する石川さん。このほか、のじり農産加工センターやすき酒造など市内9ヶ所を視察しました

「小林の農産物は質が高い」 都内ホテル職員が食材を視察

5月11日、12日に東京の羽田エクセルホテル東急レストランの職員が市を訪れ農作物や加工品などを視察しました。同レストランでは、7月、8月に市の食材を活用したフェアを開催予定。石川光紀料理長は「どれも質が高く生産者の思いが伝わってくる。その思いをお客さまに伝えたい」と話していました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、細野地区

「細野」法被を作成してアピール

地域活動や、学校などの行事で活用することを目的に、“ほその”を盛り上げていこうとの思いを込めて、細野まちづくり協議会では、バックプリントに「細野」をあしらい、地域のシンボルでもある牧場の桜色をイメージした華やかな法被を作成しま

した。作成枚数は子ども用30枚、大人用20枚。早速、5月15日に行われた第70回細野中学校体育大会で細野中生徒が着用して、ほそのソーランを踊りました。来場された地域の方や来賓の方々からは、まきばの桜のように華やかだと大変好評でした。



「まきばの桜色をイメージして、華やかな法被を作成しました」

細野まちづくり協議会
地域づくり推進部
内村文彦さん

自動車税・軽自動車税の 納期内納付キャンペーン開催

5月15日、サンキュー小林店で自動車税・軽自動車税納期内納付推進キャンペーンが行われました。キャンペーンは宮崎県と西諸2市1町が合同で開催。こすも〜をはじめ、各自治体のご当地キャラクターも参加し、店舗入口や店内で納期内納付啓発ティッシュ1,000個を配布しました。



キャンペーンを行うこすも〜と高原町のはるちゃん。他にみやざき犬ひくん、えびの市のみなほも参加しました



このおはなし会で、市教育委員会が今年制作した紙芝居「ホタルのトンネル」を初披露しました（紙芝居の詳細は18頁で紹介）

子どもが読書に興味関心を 春のおはなし会開催

5月14日、市立図書館で「本はともだち 春のおはなし会」が行われました。子ども達に、読書に興味を持ってもらうことを目的に、小・中学校「読みきかせ」連絡協議会が開催。市内小学生、保護者ら約100人を前に、絵本や紙芝居の「読みきかせ」活動を行いました。